

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月6日		記入者		連絡先	5694
平成18年度部名	保健福祉部		課名	こども家庭支援センター	課長名	安藤 康恵
平成19年度部名	こども育成部		課名	こども家庭支援センター	課長名	安藤 康恵
事務事業名	育児支援家庭訪問事業					
予算上の事務事業名	育児支援家庭訪問事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	13120	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます					
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進					
施策名	第2施策 子育て支援の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	育児支援家庭訪問事業実施要綱					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	相模原市次世代育成支援行動計画			少子化が進行する中で、次世代を担う子どもと子育て家庭を総合的に支援することを目的に、子育て・子育て支援施策の方向性や目標を定めたもの		
計画年次	17	年度～	21			
4 事業形態の区分	対策			5 事業開始年度	平成17年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めることが困難な家庭に対し、過重な負担がかかる前の段階において、保健師等の訪問による支援を実施する。				育児ストレス、産後うつ病によって養育者が子育てに対する不安や孤立感等を抱える家庭又は虐待に至る恐れ、リスクを抱える家庭		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<p>育児支援家庭訪問事業に該当すると思われる家庭等について、必要に応じて関係機関からの情報収集を行い家庭における養育状況を把握する。</p> <p>把握の結果、支援の必要性があると認められる家庭等に対し、その支援方針、支援内容及び期間を明確にした上で実施する。</p> <p>支援期間終了後評価を行い、さらに今後の支援方法を検討する。</p> <p>支援世帯数 18ケース</p>						
<p>県内では横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市で実施、全国では豊橋市、高槻市、岡山市、松山市、熊本市等で実施</p>						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	1,897	2,053	3,911	3,911	
一般財源	0	1,497	653	2,511	2,511	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	400	1,400	1,400	1,400	
人件費の合計	0	805	805	805	805	
事業コスト合計	0	2,702	2,858	4,716	4,716	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	育児支援家庭訪問事業			対象名称 と単位	訪問ケース数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	2,702	2,835	4,716	4,716	
対象数	0	11	18	20	20	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	245,636	157,500	235,800	235,800	
前年度比		#DIV/0!	0.64	1.50	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	育児支援家庭訪問相談員出勤日数	指標式と指標の説明	実出勤日数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	156.0	184.0		
目標	0.0	150.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	104.0	92.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	訪問ケース数	指標式と指標の説明	訪問ケース数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	11.0	18.0		
目標	0.0	10.0	20.0	20.0	20.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	110.0	90.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		児童虐待の発生予防・重症化予防の観点で平成17年7月から実施している。対象者との関係構築に難しい面があるが、この事業を必要としている家庭に積極的に導入していく必要がある。また、19年度から育児・家事援助を試行実施し、事業の拡充・充実を図る。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
保健センターと連携を図り、支援の必要な家庭の把握に努める。対象者数によっては、育児支援家庭訪問相談員の増員を検討する。			育児・家事援助とボランティアとの役割分担		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			